

山野草が教えてくれる、初夏の訪れ

◎初夏の山野草展

苔玉から生える山野草に、興味深々



鬼北山野草会(会長・武田國次)が主催する「初夏の山野草展」が6月25日・26日の2日間にわたって、広見体育センターで開催されました。

毎回、多くの愛好家が訪れる山野草展。今回も町内外からの季節ならではの山野草を一目見ようと、多くの来場者で賑わいました。会場には、初夏らしい鮮やかな緑色をしたものから、淡い優しい色をしたものまで、さまざまな山野草が並び、訪れた人を魅了していました。

また、会場内では山野草の苗の販売も実施され、来場者は、嬉しそうに手に取り、購入していました。

区長組長に施政方針報告

◎平成28年度区長組長会

熱心に資料に目を通す出席者たち



6月12日、広見体育センターで「平成28年度鬼北町区長組長会」が行われ、各地区の区長組長が出席しました。

会では、甲岡秀文町長から施政方針の報告や、各課長からの主要施策等の説明が行われました。出席者たちは、時折メモを取りながら、真剣な様子で話に耳を傾けていました。

また、4月に発生した熊本地震に際し、救援のため派遣されていた鬼北町町民生活課岡部主任より、災害派遣報告が行われました。出席者は、活動内容や、被災地の現状の話に、興味深そうに聞き入っていました。

選手の健康を思い、試行錯誤

◎民泊献立案調理実習

ひとつひとつ丁寧に、調理中



6月30日、中央公民館の調理室で「民泊献立案調理実習」が行われました。

鬼北町食生活改善推進協議会の会員19人が参加したこの実習は、来年開催される「えひめ国体」で、選手たちに振る舞われる朝食や夕食の献立案を調理し、分量や食材が適正であるかを確認するために、実施されました。

今後、この調理実習は7・8月に1回ずつ実施され、朝食・夕食6食ずつの献立が決定します。10月からは実習に参加した食生活推進協議会の会員が講師となり、民泊協力会の調理班の代表者を対象にした調理実習が行われます。

五感を通し、防災の大切さ学ぶ

◎みどり保育所避難訓練

写真で災害の怖さを知る子どもたち



6月30日、みどり保育所で、大雨による土砂災害を想定した避難訓練が行われました。

鬼北町災害対策本部から避難準備情報の連絡を受けたみどり保育所の職員は、子どもたちとともに、避難場所に指定されている日吉住民センターに急いで避難。子どもたちは、慣れない訓練に戸惑いながらも、先生の指示に従い、落ち着いた様子で避難していました。

避難訓練終了後は、都築美恵子みどり保育所長による、防災をテーマにした講話を実施。防災グッズを紹介したり、非常食を食べたりし、防災の大切さを子どもたちに伝えていました。